

## 感染症が大流行する時期となりました。

三学期が始まりましたが、すぐに三連休となります。感染症流行は、本校に限って見た場合、11月中旬に見られその後終息しました。全国的な流行状況で考えた場合には、例年流行の兆しが見られ始めるのは大寒の頃からが多かったようです。寒さがよりいっそう厳しい上に乾燥した日が続くことも大きな要因です。ところが、今年度は、昨年・一昨年よりも早い段階で流行し始めているようです。そのことを象徴するかのように、全国的にもインフルエンザの警戒高レベル地域がほとんどとなっており、関東圏では、すべてが警戒高レベル～低レベルとなっています。現在、注意報レベルの地域でも、警戒レベルの域に達するのは時間の問題です。

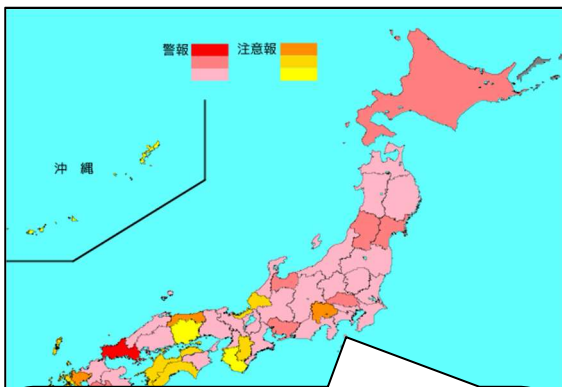
また、栃木県内の流行は、インフルエンザとともに感染性胃腸炎や水痘（みずぼうそう）の流行もみられ、ますます感染症への注意が必要な状態です。学校が始まり集団で接触する機会が多くなることから、今後、インフルエンザ感染者は増加することが予想されます。本校は、今のところ健康観察でかぜの症状を訴える人は、まだ少なめです。しかし、発熱による欠席者も数名見られていますので油断はできません。明日からの三連休も油断することなく過ごしてほしいと思います。

感染症の基本は、**手洗い・うがい** です。そして、**睡眠時間を確保し体力を温存**させてください。

### 【感染症情報 1/9現在】

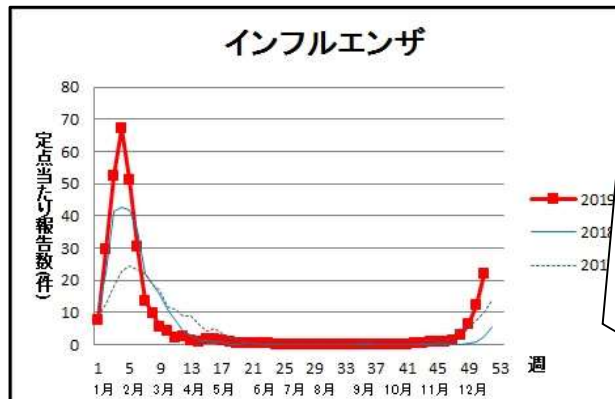
①全国 国立感染症情報センター情報より

②栃木県内の状況 栃木県感染症発生情報動向より



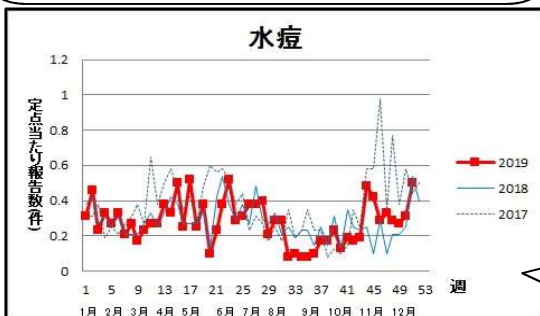
#### インフルエンザ

- 全国で警報レベルを超えている保健所地域は111箇所（1都1道2府30県）、注意報レベルを超えている保健所地域は350箇所（前47都道府県）となっています。この時期にしては、昨年度よりも2倍以上の増え方です。
- 関東圏では、埼玉県で警報高レベル、都県全てが警報レベルになっています。



・今年度は、例年より早い段階から流行し始めていることがわかります。（■印の線）十一月までは横ばいでしたが、十二月になってから急上昇しています。ますます今後の動向に注意する必要があります。

・感染性胃腸炎の報告件数もうなぎ登りです。



・12月下旬から水痘（みずぼうそう）が流行しています。地域は限定的で県北部地区での流行のようですが、注意報レベルとなり例年よりも増加傾向にあります。